

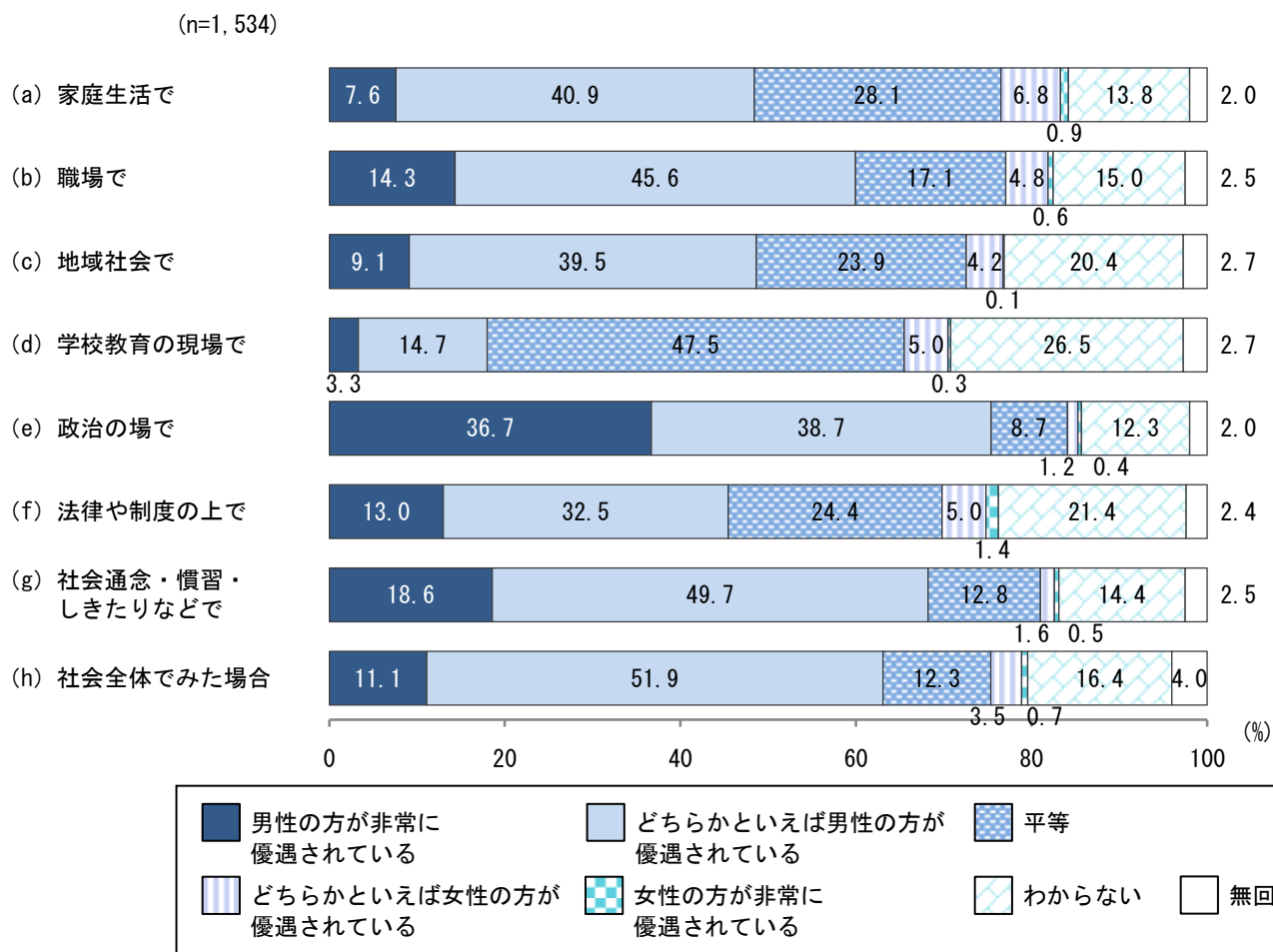
2 男女の地位の平等などについて

(1) 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識

問5 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっているとお考えですか。

((a)～(h)でそれぞれ1つだけ✓)

【図表5-1 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識】



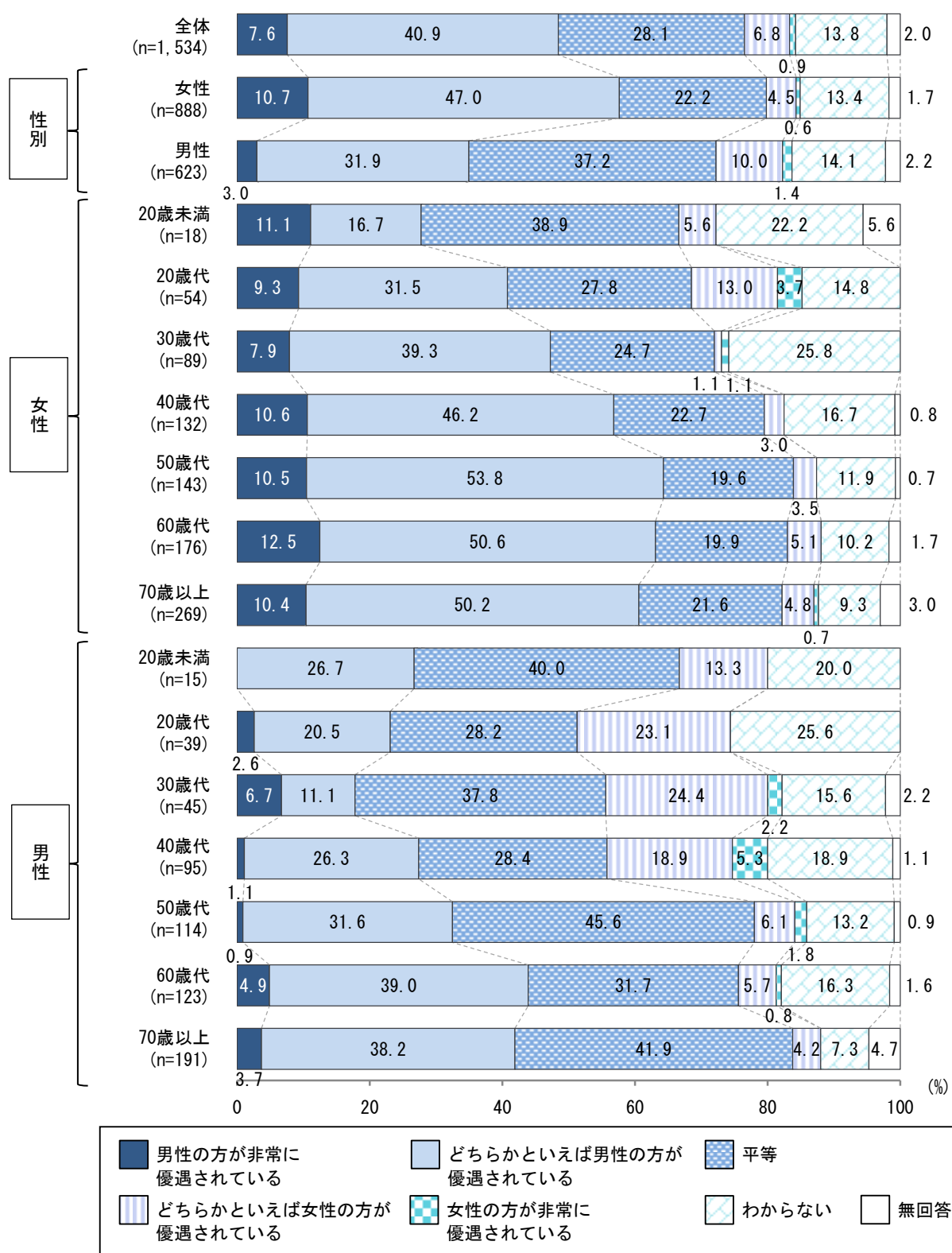
「学校教育の現場で」以外では『男性が優遇』されていると強く感じられている

各分野・社会全体における男女の地位の平等意識について、「政治の場で」は『男性が優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）が75.4%と高くなっている。また、「職場で」、「社会通念・慣習・しきたりなどで」、「社会全体でみた場合」も約6～7割と高くなっている。

一方、「学校教育の現場で」は『平等』が高くなっている。

(a)家庭生活で

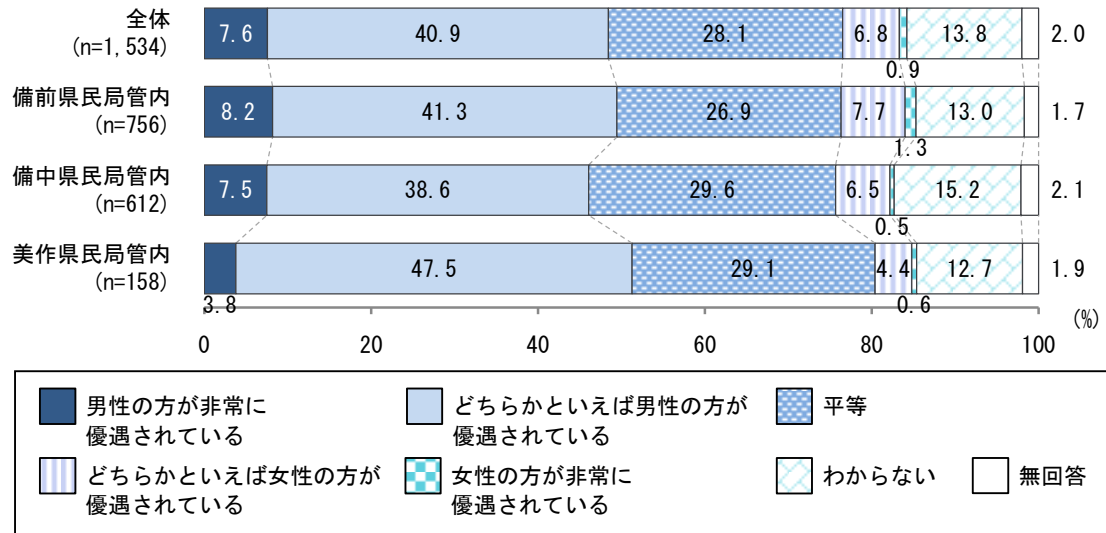
【図表5-1-1 家庭生活で(性別、性年代別)】



性別にみると、『男性が優遇』は女性(57.7%)が男性(34.9%)を 22.8 ポイント上回っている。

性年代別にみると、『男性が優遇』は女性の 50 歳代で6割台半ば、「平等」は男性の 50 歳代で4割台半ばと高くなっている。

【図表5-1-2 家庭生活で(地域別)】



地域別にみると、『男性が優遇』はすべての地域で5割前後となっている。

【図表5-1-3 家庭生活で(経年比較・国調査との比較)】

(単位: %)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	15.0	50.1	20.6	6.9	4.2	0.8	65.1	5.0
H16	11.0	49.5	25.2	5.5	5.7	0.9	60.5	6.6
H21	7.3	42.4	27.2	7.4	5.7	1.5	49.7	7.2
H26	7.9	45.9	25.5	8.6	7.8	0.9	53.8	8.7
R1	9.2	42.7	28.3	7.7	7.4	0.8	51.9	8.2
R6	7.6	40.9	28.1	13.8	6.8	0.9	48.4	7.8
国(R6)	9.3	51.4	30.0	-	7.8	1.2	60.7	9.0

経年比較でみると、『男性が優遇』は減少傾向にある。

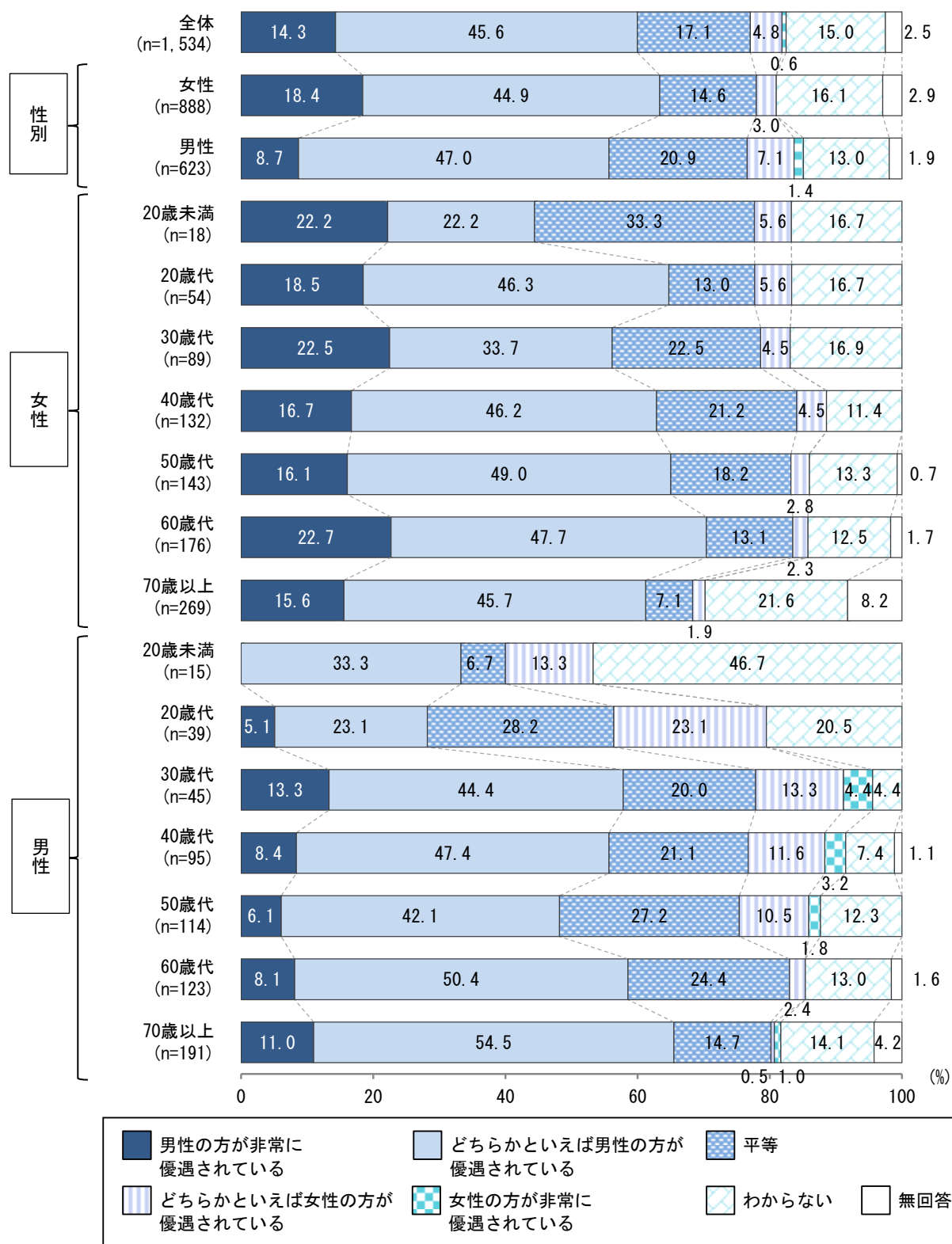
国調査と比較すると、『男性が優遇』は令和6年調査(48.4%)が国調査(60.7%)を12.3ポイント下回っている。

※国調査「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和6年9月調査)

※図表5-1-3は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

(b)職場で

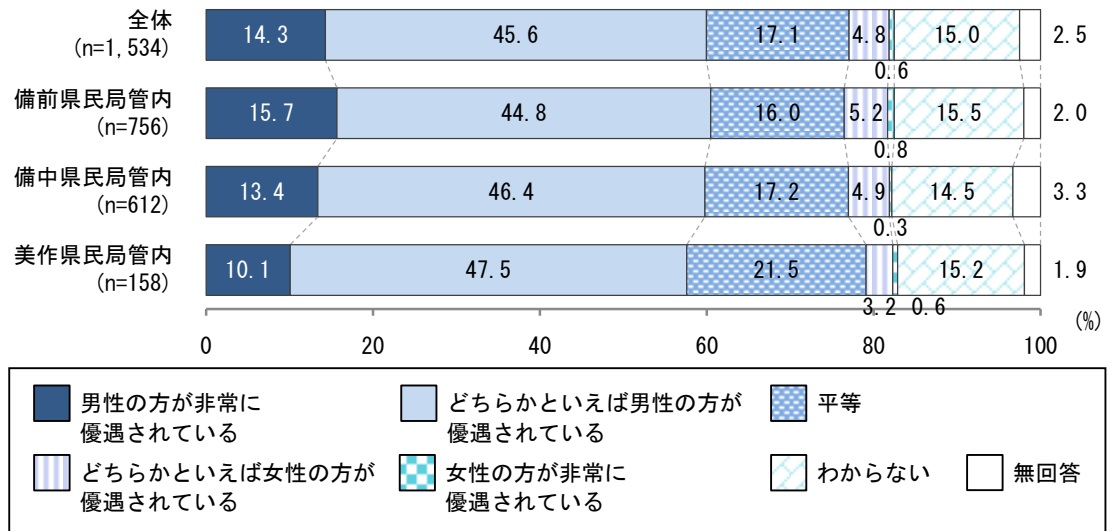
【図表5-2-1 職場で(性別、性年代別)】



性別にみると、『男性が優遇』は女性(63.3%)が男性(55.7%)を 7.6 ポイント上回っている。

性年代別にみると、『男性が優遇』は女性は 60 歳代で約7割、男性は 70 歳以上で6割台半ばと高くなっている。

【図表5-2-2 職場で(地域別)】



地域別にみると、『男性が優遇』はすべての地域で約6割となっている。

【図表5-2-3 職場で(経年比較・国調査との比較)】

(単位: %)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	25.5	49.4	10.8	6.5	3.6	0.7	74.9	4.3
H16	23.5	49.9	11.0	8.2	3.9	0.3	73.4	4.2
H21	19.1	46.0	13.0	8.2	4.4	0.8	65.0	5.2
H26	20.6	48.6	15.1	6.7	4.9	0.6	69.3	5.6
R1	15.8	48.7	17.9	8.9	5.1	0.8	64.5	5.9
R6	14.3	45.6	17.1	15.0	4.8	0.6	60.0	5.4
国(R6)	14.2	49.6	25.8	-	8.1	1.1	63.8	9.2

経年比較でみると、『男性が優遇』は減少傾向にある。

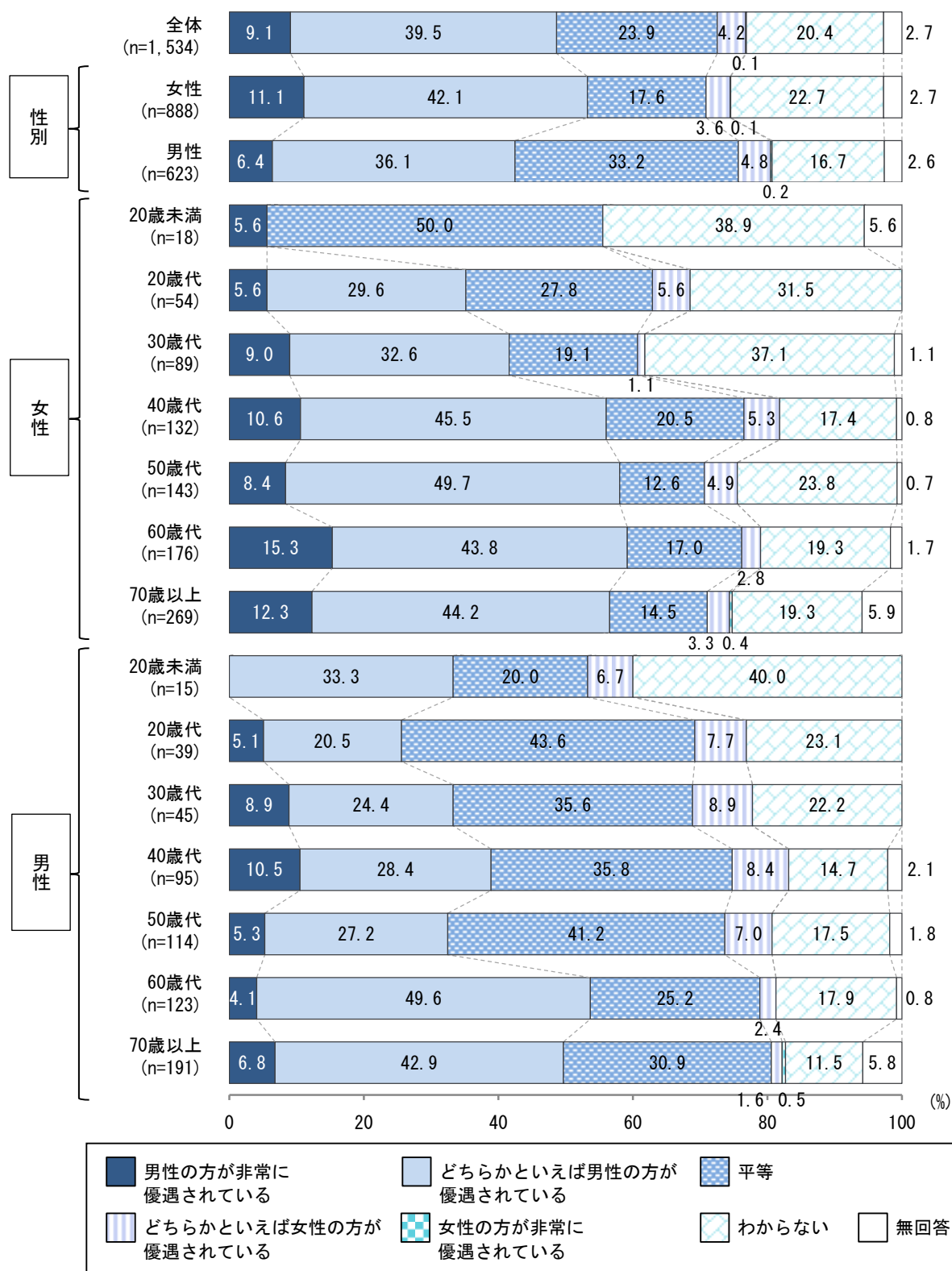
国調査と比較すると、「平等」は令和6年調査(17.1%)が国調査(25.8%)を 8.7 ポイント下回っている。

※国調査「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和6年9月調査)

※図表5-2-3は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

(c)地域社会で

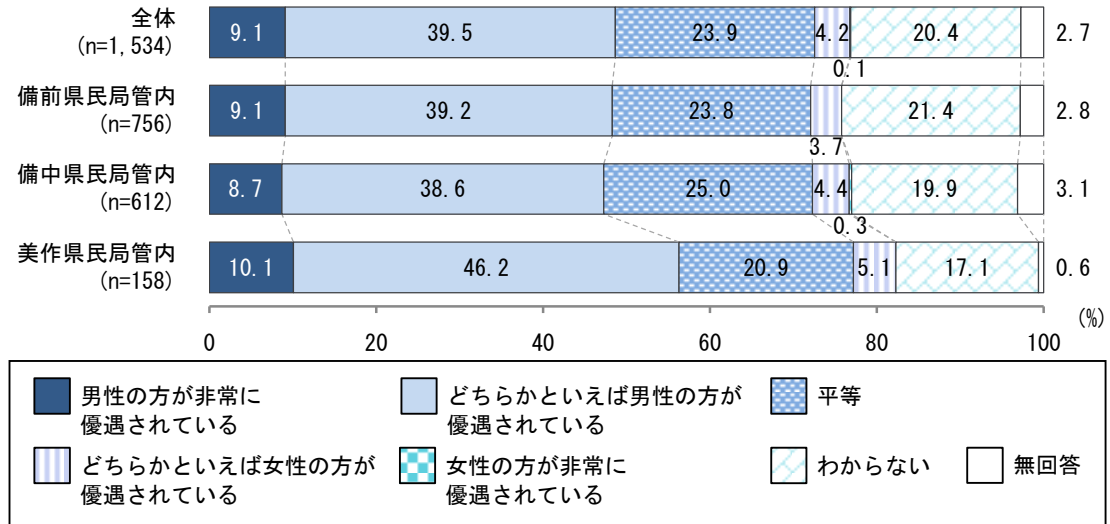
【図表5-3-1 地域社会で(性別、性年代別)】



性別にみると、「平等」は男性(33.2%)が女性(17.6%)を 15.6 ポイント上回っている。

性年代別にみると、『男性が優遇』は女性は 50 歳代～60 歳代で約6割、男性は 60 歳代で5割台半ばと高くなっている。

【図表5-3-2 地域社会で(地域別)】



地域別にみると、『男性が優遇』は美作県民局管内(56.3%)が最も高く、備中県民局管内(47.3%)が最も低く、9.0ポイントの差がある。

【図表5-3-3 地域社会で(経年比較・国調査との比較)】

(単位: %)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	13.4	45.0	22.2	10.7	3.8	0.4	58.4	4.2
H16	11.6	45.8	22.1	11.4	4.8	1.0	57.4	5.8
H21	8.2	39.5	24.0	13.8	4.7	0.7	47.7	5.4
H26	9.2	44.7	23.8	12.0	5.5	0.6	53.8	6.1
R1	8.7	39.9	28.5	13.4	5.4	0.7	48.6	6.1
R6	9.1	39.5	23.9	20.4	4.2	0.1	48.6	4.3
国(R6)	8.8	38.2	40.3	-	9.3	1.2	47.0	10.5

経年比較でみると、大きな差はみられない。

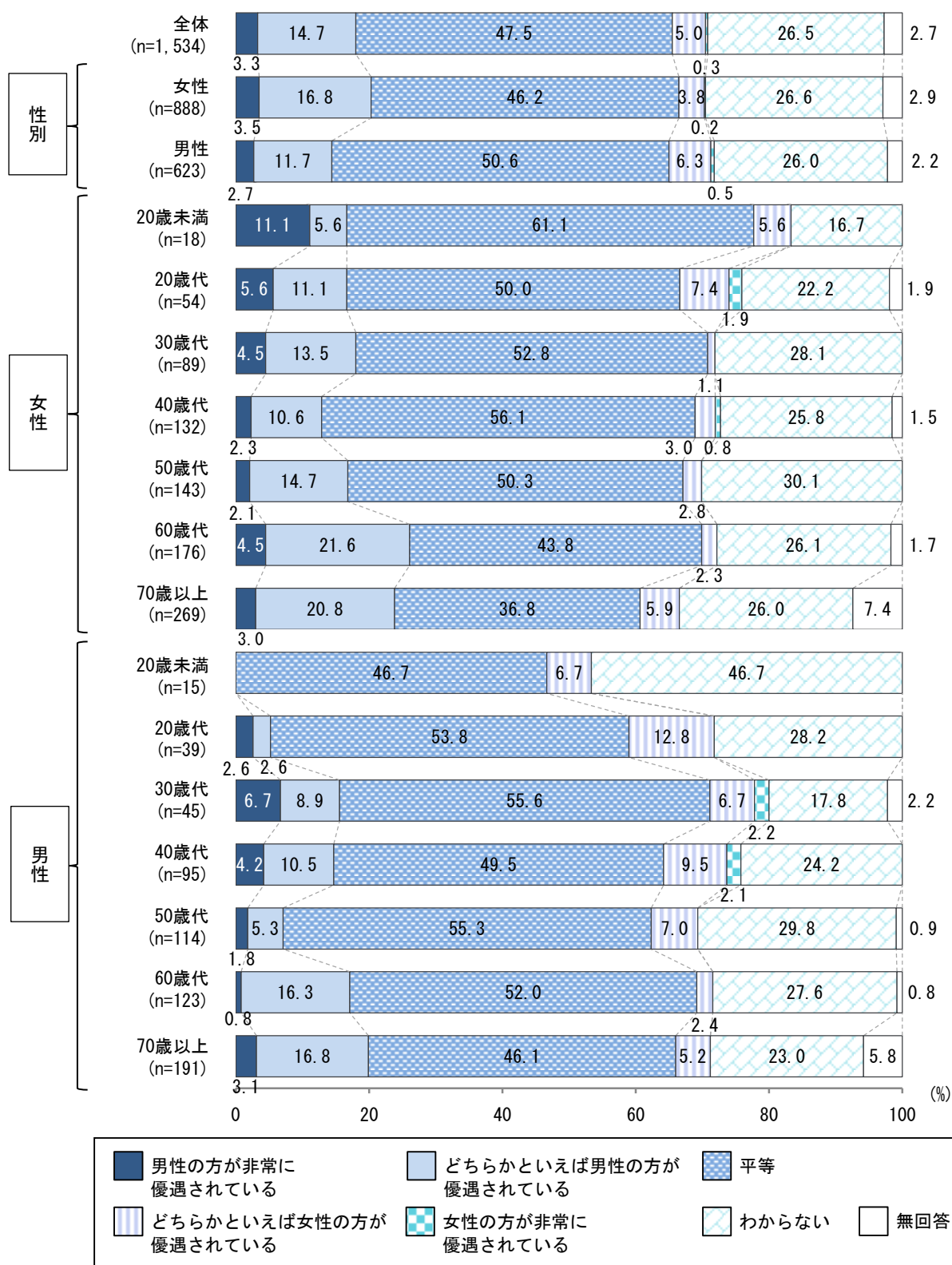
国調査と比較すると、「平等」は令和6年調査(23.9%)が国調査(40.3%)を 16.4 ポイント下回っている。

※国調査「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和6年9月調査)

※図表5-3-3は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

(d)学校教育の現場で

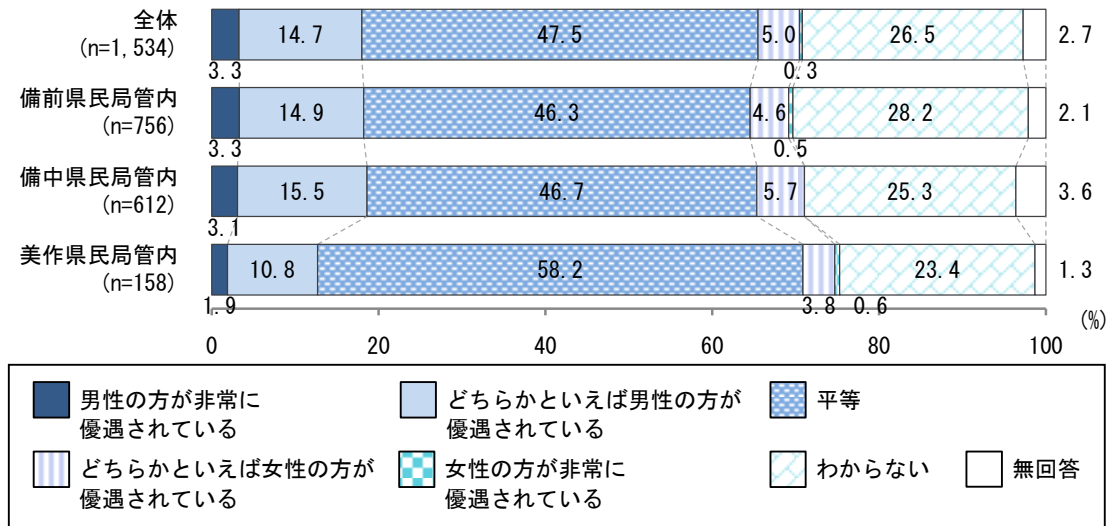
【図表5-4-1 学校教育の現場で(性別、性年代別)】



性別にみると、『男性が優遇』は女性(20.3%)が男性(14.4%)を 5.9 ポイント上回っている。

性年代別にみると、「平等」は女性は 40 歳代、男性は 30 歳代及び 50 歳代で 5 割台半ばと高くなっている。

【図表5-4-2 学校教育の現場で(地域別)】



地域別にみると、「平等」は美作県民局管内(58.2%)が最も高く、備前県民局管内(46.3%)と11.9ポイントの差がある。

【図表5-4-3 学校教育の現場で(経年比較・国調査との比較)】

(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	3.5	21.5	48.8	14.5	6.2	1.1	25.0	7.3
H16	3.9	16.4	48.5	18.1	7.6	1.6	20.3	9.2
H21	2.4	12.9	48.1	19.7	6.0	1.0	15.3	7.0
H26	2.7	17.7	47.8	20.6	7.1	0.5	20.4	7.6
R1	3.2	18.0	47.2	21.7	5.5	0.8	21.2	6.3
R6	3.3	14.7	47.5	26.5	5.0	0.3	17.9	5.3
国(R6)	2.4	19.5	70.4	-	5.6	0.4	21.9	6.1

経年比較でみると、大きな差はみられない。

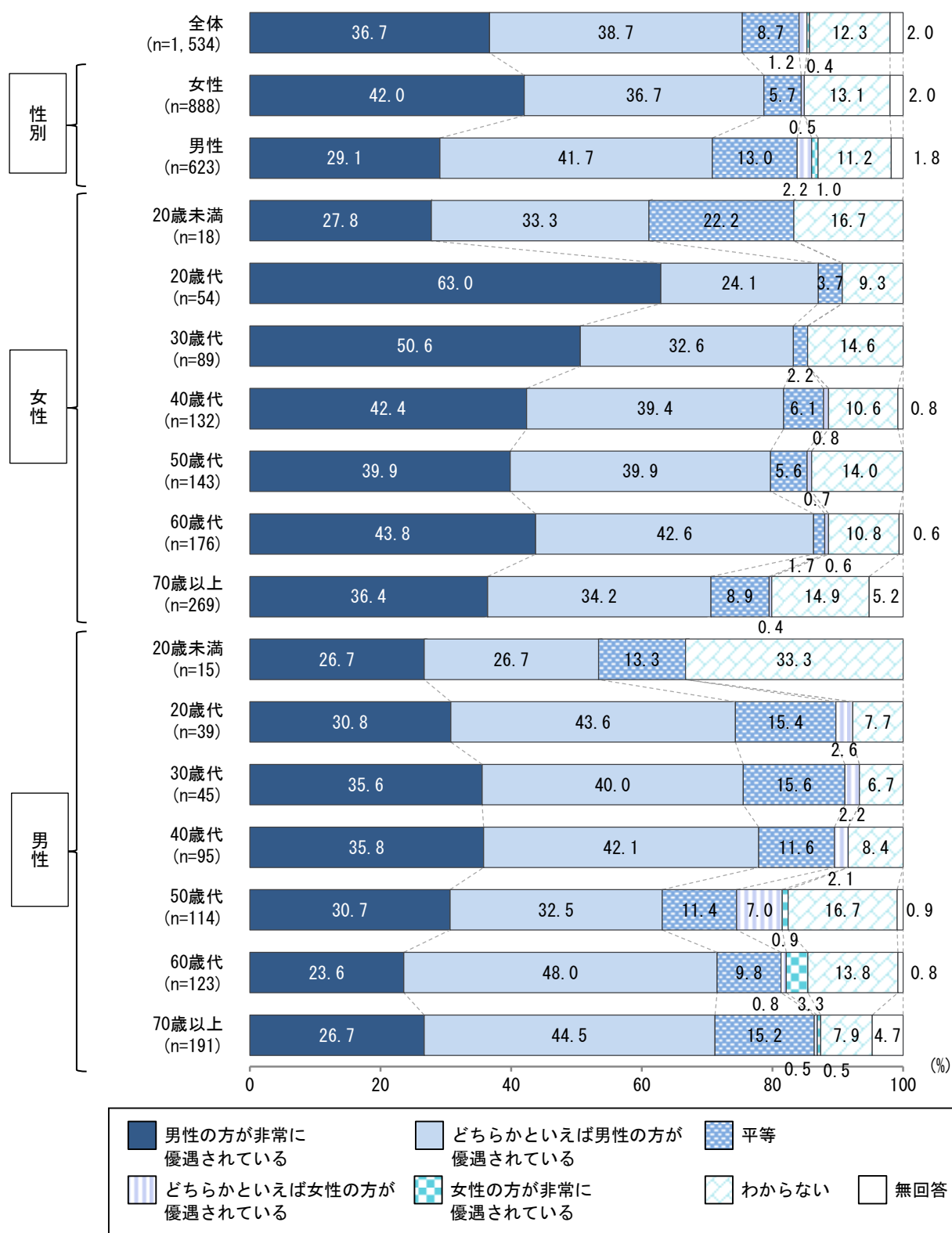
国調査と比較すると、「平等」は令和6年調査(47.5%)が国調査(70.4%)を22.9ポイント下回っている。

※国調査「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和6年9月調査)

※図表5-4-3は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

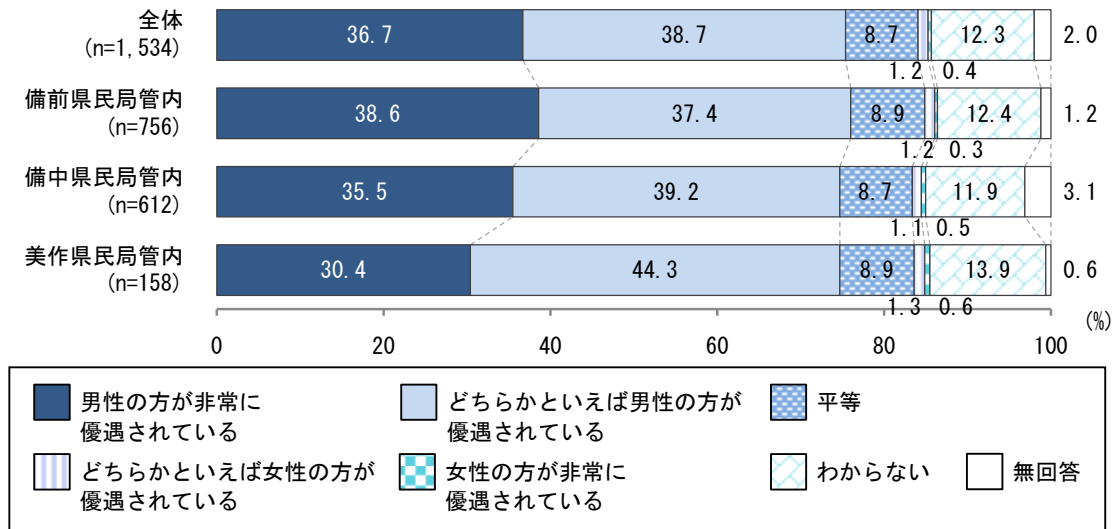
(e)政治の場で

【図表5-5-1 政治の場で(性別、性年代別)】



性別にみると、『男性が優遇』は女性(78.7%)が男性(70.8%)を 7.9 ポイント上回っている。
 性年代別にみると、『男性が優遇』は女性は 20 歳代で約9割、男性は40歳代で約8割と高くなっている。

【図表5-5-2 政治の場で(地域別)】



地域別にみると、『男性が優遇』はすべての地域で7割台半ばと高くなっている。

【図表5-5-3 政治の場で(経年比較・国調査との比較)】

(単位: %)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	30.8	41.3	14.8	7.9	1.2	0.1	72.1	1.3
H16	32.1	42.8	10.9	10.0	1.0	0.1	74.9	1.1
H21	19.5	41.5	17.2	11.0	1.5	0.5	61.0	2.1
H26	30.4	42.1	12.2	10.5	1.6	0.3	72.5	1.9
R1	29.8	44.0	11.2	10.6	0.7	0.5	73.8	1.2
R6	36.7	38.7	8.7	12.3	1.2	0.4	75.4	1.6
国(R6)	44.1	43.8	9.4	-	1.9	0.3	87.9	2.1

経年比較でみると、大きな差はみられない。

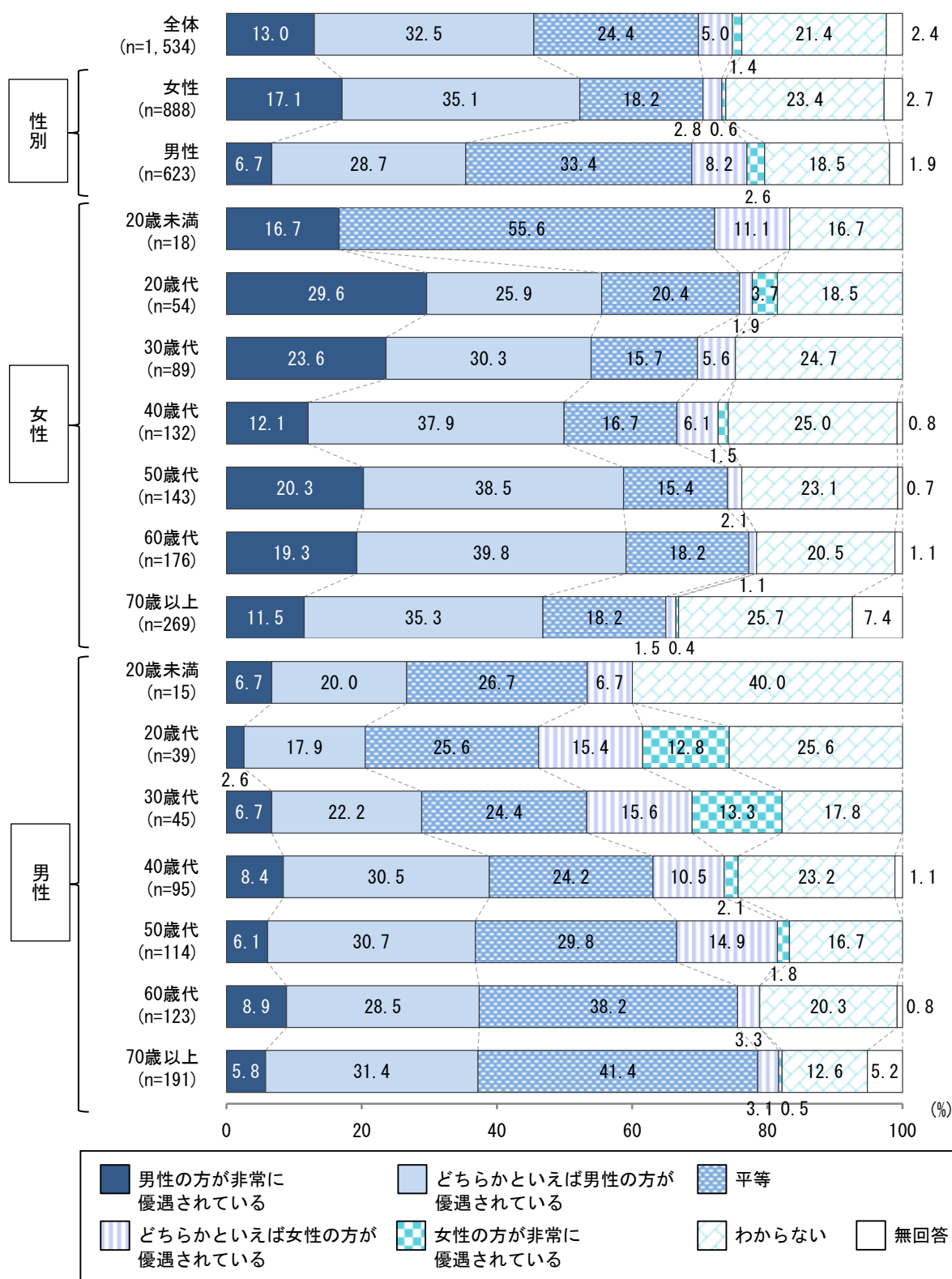
国調査と比較すると、『男性が優遇』は令和6年調査(75.4%)が国調査(87.9%)を12.5ポイント下回っている。

※国調査「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和6年9月調査)

※図表5-5-3は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

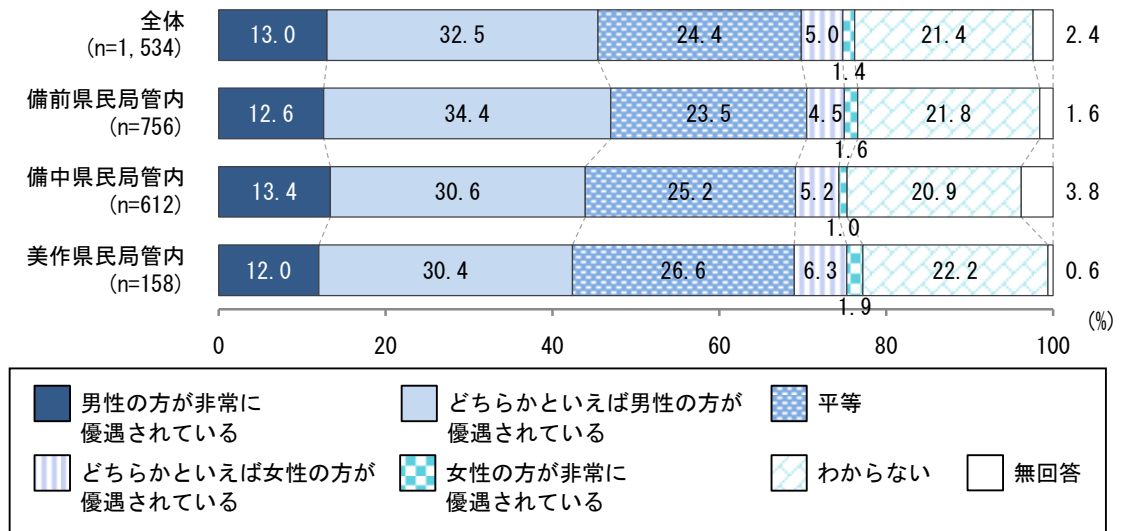
(f)法律や制度の上で

【図表5-6-1 法律や制度の上で(性別、性年代別)】



性別にみると、『男性が優遇』は女性(52.2%)が男性(35.4%)を 16.8 ポイント上回っている。
 性年代別にみると、『男性が優遇』は女性の 50 歳代～60 歳代で約6割と高くなっている。

【図表5-6-2 法律や制度の上で(地域別)】



地域別にみると、『男性が優遇』はすべての地域で4割超となっている。

【図表5-6-3 法律や制度の上で(経年比較・国調査との比較)】

(単位: %)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	12.4	33.7	31.7	12.6	4.2	0.8	46.1	5.0
H16	14.0	33.7	26.8	16.3	5.3	0.8	47.7	6.1
H21	7.8	29.7	30.9	15.6	5.7	0.7	37.5	6.4
H26	10.8	29.4	30.8	18.1	5.6	0.9	40.1	6.4
R1	10.6	33.2	28.3	19.1	4.8	0.6	43.8	5.4
R6	13.0	32.5	24.4	21.4	5.0	1.4	45.5	6.3
国(R6)	11.4	38.9	38.2	-	8.9	1.9	50.4	10.8

経年比較でみると、『男性が優遇』の割合は平成 21 年調査から令和6年調査にかけて増加傾向にある。『女性が優遇』の割合はほぼ横ばいで、大きな変化はみられない。「平等」は平成 21 年調査から令和6年調査にかけて減少傾向にある。

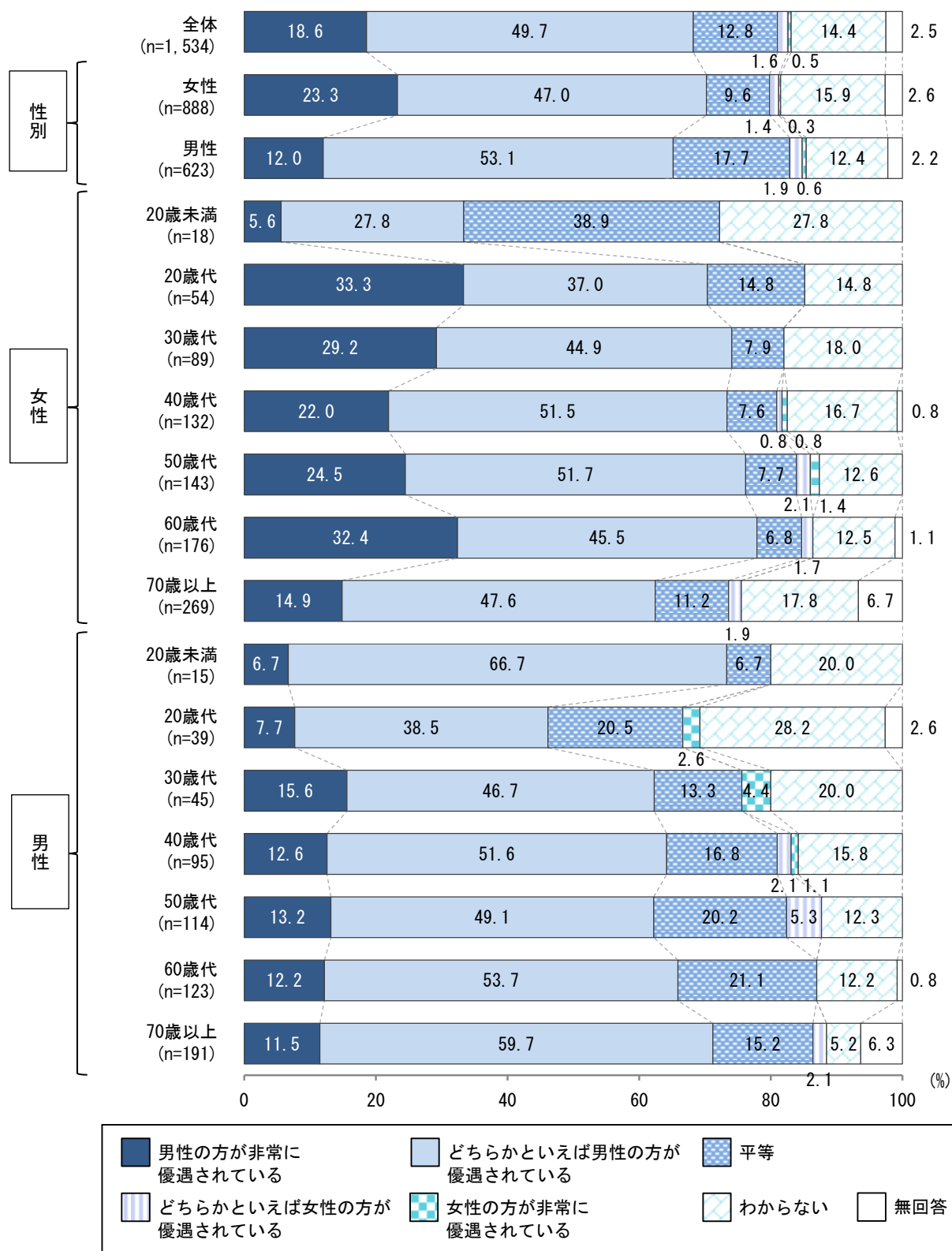
国調査と比較すると、「平等」は令和6年調査(24.4%)が国調査(38.2%)を 13.8 ポイント下回っている。

※国調査「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和6年9月調査)

※図表5-6-3は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

(g) 社会通念・慣習・しきたりなどで

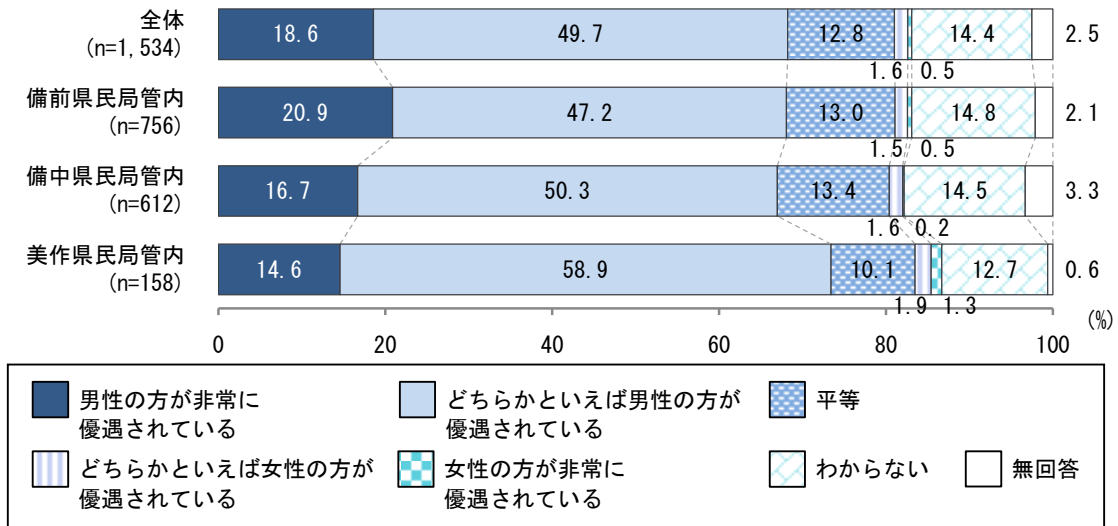
【図表5-7-1 社会通念・慣習・しきたりなどで(性別、性年代別)】



性別にみると、「平等」は男性(17.7%)が女性(9.6%)を 8.1 ポイント上回っている。

性年代別にみると、『男性が優遇』は女性は60歳代で約8割、男性は70歳以上で7割超と高くなっている。

【図表5-7-2 社会通念・慣習・しきたりなどで(地域別)】



地域別にみると、『男性が優遇』は美作県民局管内で7割台半ばと高くなっている。

【図表5-7-3 社会通念・慣習・しきたりなどで(経年比較・国調査との比較)】

(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	26.9	50.1	8.8	9.5	1.5	0.4	77.0	1.9
H16	24.7	53.0	7.6	9.0	2.0	0.3	77.7	2.3
H21	15.4	50.7	11.0	10.1	2.2	0.7	66.2	2.9
H26	18.6	54.7	10.4	9.7	2.2	0.1	73.3	2.3
R1	19.5	53.0	12.5	10.1	1.4	0.3	72.5	1.7
R6	18.6	49.7	12.8	14.4	1.6	0.5	68.3	2.0
国(R6)	21.2	57.0	16.3	-	3.4	0.5	78.2	3.9

経年比較でみると、大きな差はみられない。

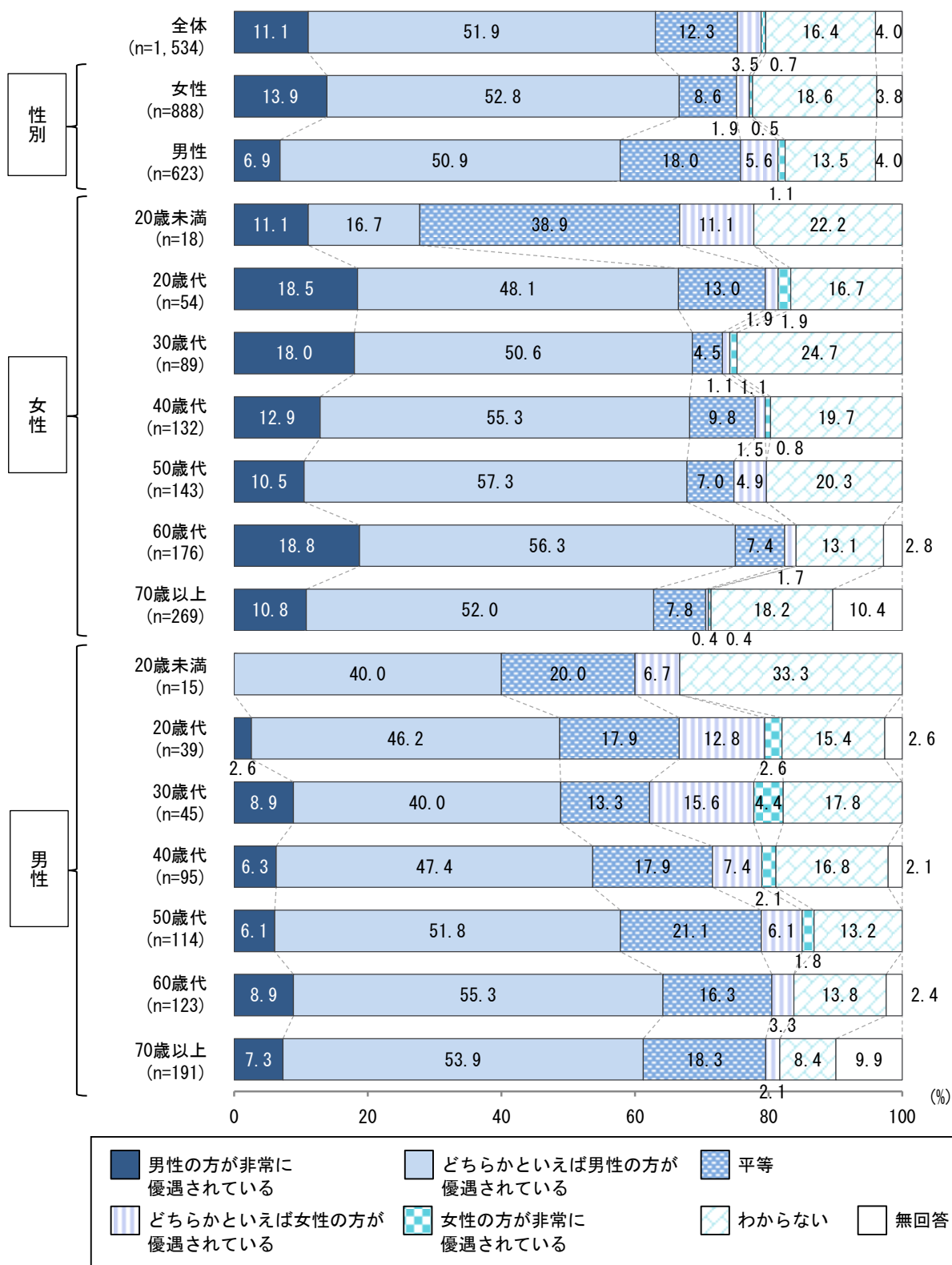
国調査と比較すると、『男性が優遇』は令和6年調査(68.3%)が国調査(78.2%)を 9.9 ポイント下回っている。

※国調査「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和6年9月調査)

※図表5-7-3は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

(h)社会全体でみた場合

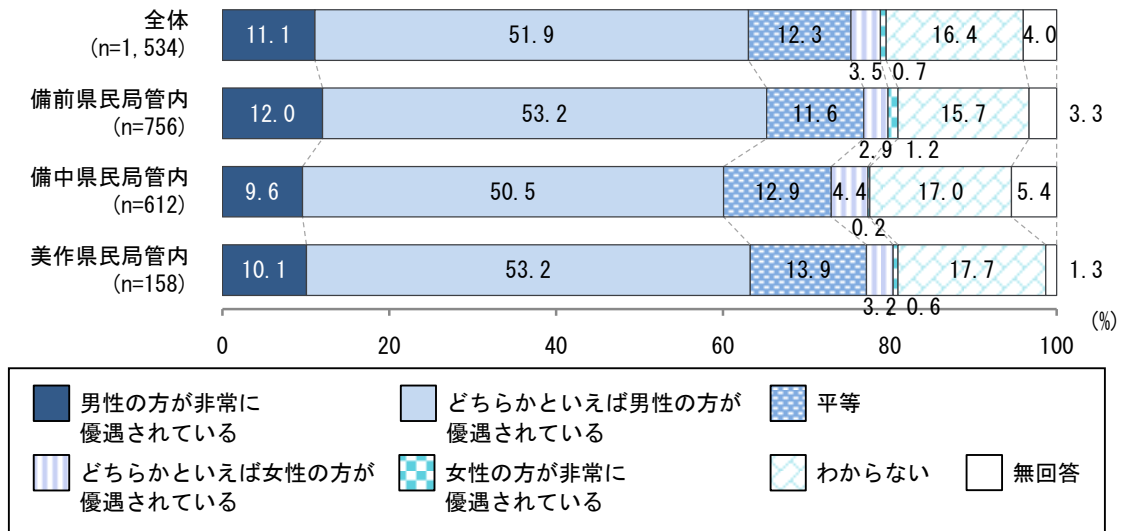
【図表5-8-1 社会全体でみた場合(性別、性年代別)】



性別にみると、「平等」は男性(18.0%)が女性(8.6%)を 9.4 ポイント上回っている。

性年代別にみると、『男性が優遇』は女性は 60 歳代で7割台半ば、男性は 60 歳代で6割台半ばと高くなっている。

【図表5-8-2 社会全体でみた場合(地域別)】



地域別にみると、『男性が優遇』はすべての地域で6割超となっている。

【図表5-8-3 社会全体でみた場合(経年比較・国調査との比較)】

(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H16	17.9	62.5	7.3	5.8	3.5	0.3	80.4	3.8
H21	6.8	56.4	11.7	8.7	3.4	0.5	63.2	3.9
H26	9.7	59.5	9.9	8.5	3.1	0.2	69.3	3.3
R1	9.7	58.1	14.4	11.4	2.2	0.3	67.8	2.5
R6	11.1	51.9	12.3	16.4	3.5	0.7	63.0	4.2
国(R6)	11.9	62.8	16.7	-	6.1	0.7	74.7	6.8

経年比較でみると、大きな差はみられない。

国調査と比較すると、『男性が優遇』は令和6年調査(63.0%)が国調査(74.7%)を 11.7 ポイント下回っている。

※国調査「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和6年9月調査)

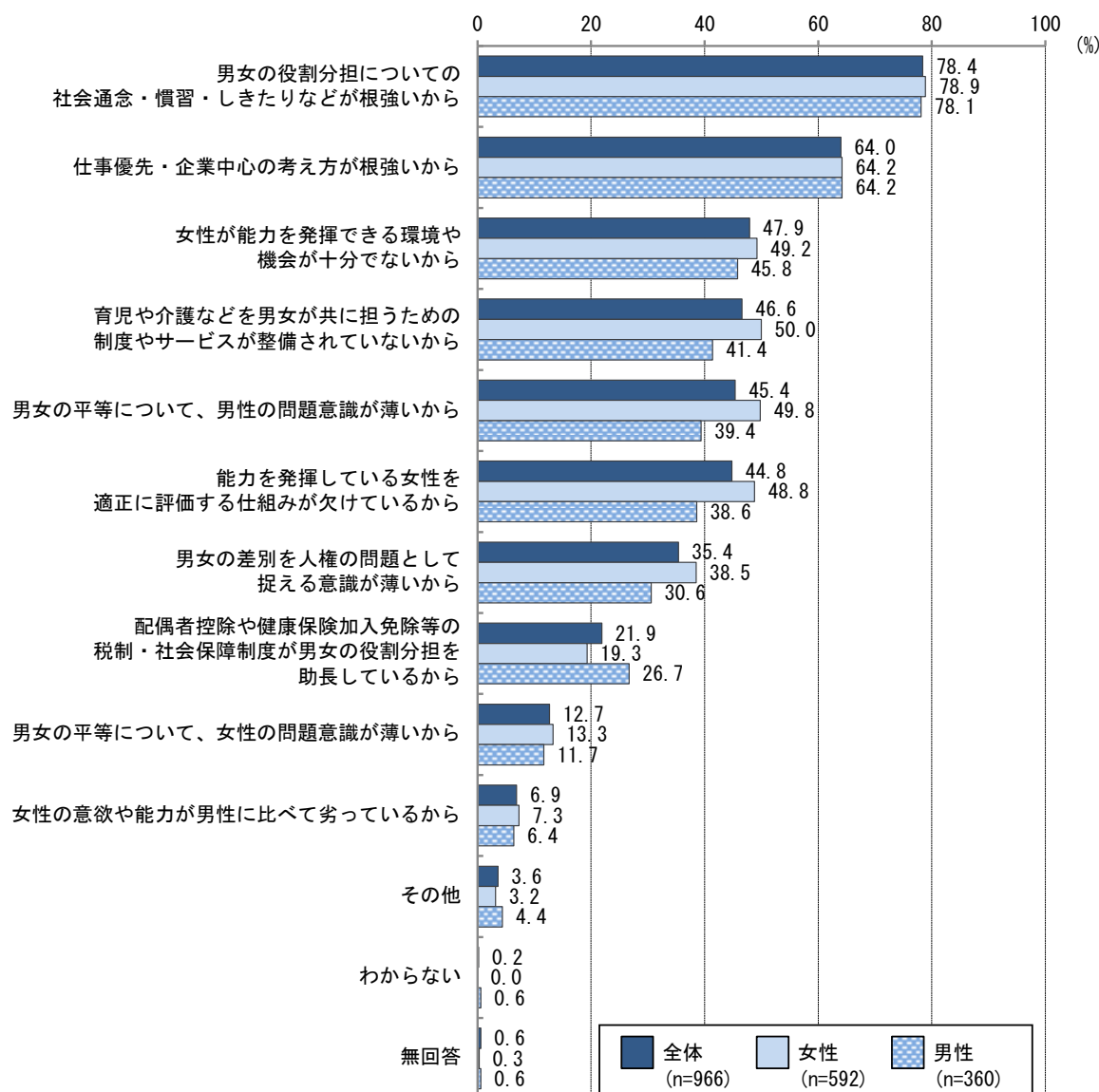
※図表5-8-3は過去の調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

(2) 男性の方が優遇されていると思う原因

問5「(h)社会全体でみた場合」で、「1.男性の方が非常に優遇されている」または「2.どちらかといえば男性の方が優遇されている」を選択した方のみ

問6 社会全体でみて男性の方が優遇されている原因は何だとお考えですか。(✓はいくつでも)

【図表6-1 社会全体で男性の方が優遇されている原因(性別)】



「男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強いから」が最も高い

社会全体で男性の方が優遇されている原因について、「男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強いから」が78.4%と最も高く、次いで「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」(64.0%)、「女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから」(47.9%)などの順となっている。

性別にみると、「男女の平等について、男性の問題意識が薄いから」は女性(49.8%)が男性(39.4%)を10.4ポイント、「能力を発揮している女性を適正に評価する仕組みが欠けているから」は女性(48.8%)が男性(38.6%)を10.2ポイント上回っている。一方、「配偶者控除や健康保険加入免除等の税制・社会保障制度が男女の役割分担を助長しているから」は男性(26.7%)が女性(19.3%)を7.4ポイント上回っている。

【図表6-2 社会全体で男性の方が優遇されている原因(性年代別・上位 10 位)】

(%)

		n 数	から 念男女 ・女の 慣習・役 習・割 しき担 たりつ ないて などが 根強い 社会通	強い事 いから 優先・ 企業中 心の考 え方が 根強い	会女性 が十分 で能力 を發揮 できる 環境や 機会	てため の制度 やサー ビスが 男女が 共に担 う	育児や 介護な どを男 女が共 に担う	意識が 薄いつ いて、 男性の 問題	評価を する仕 組みて いる欠 け女性 を適正 に	え男女 の差別 を人権 の問題 として 捉	割の税 制・社 会保 障制 度加入 免除等	配偶者 控除や 健康保 険加入 免除等	意識が 薄いつ いて、 女性の 問題	劣女性 の意欲 や能力 が男性 に比べて
全 体		966	78.4	64.0	47.9	46.6	45.4	44.8	35.4	21.9	12.7	6.9		
年代別	女性	20歳未満	5	60.0	60.0	20.0	40.0	40.0	100.0	40.0	-	20.0	-	
		20歳代	36	66.7	50.0	30.6	52.8	38.9	41.7	30.6	16.7	2.8	2.8	
		30歳代	61	70.5	65.6	39.3	47.5	49.2	39.3	36.1	13.1	9.8	1.6	
		40歳代	90	76.7	67.8	51.1	52.2	50.0	51.1	31.1	20.0	7.8	5.6	
		50歳代	97	83.5	62.9	44.3	50.5	59.8	54.6	37.1	22.7	18.6	9.3	
		60歳代	132	79.5	66.7	55.3	48.5	53.0	53.0	47.7	19.7	13.6	6.1	
		70歳以上	169	83.4	63.9	55.0	50.9	44.4	45.0	39.1	19.5	16.6	10.7	
	男性	20歳未満	6	83.3	66.7	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3	-	-	
		20歳代	19	73.7	63.2	36.8	31.6	31.6	21.1	26.3	21.1	5.3	5.3	
		30歳代	22	50.0	45.5	36.4	40.9	27.3	27.3	18.2	31.8	9.1	-	
		40歳代	51	64.7	60.8	43.1	47.1	37.3	39.2	29.4	23.5	11.8	11.8	
		50歳代	66	75.8	72.7	40.9	37.9	45.5	33.3	27.3	21.2	13.6	9.1	
		60歳代	79	84.8	69.6	54.4	53.2	41.8	43.0	30.4	29.1	16.5	2.5	
		70歳以上	117	86.3	60.7	48.7	35.9	39.3	44.4	35.9	29.1	9.4	6.8	

1位
 2位
 3位

性年代別にみると、「男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強いから」は女性は 50 歳代及び 70 歳以上、男性は 60 歳代～70 歳以上で8割台半ば、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」は男性の 50 歳代で7割超と高くなっている。

【図表6-3 社会全体で男性の方が優遇されている原因(地域別・上位 10 位)】

												(%)		
		n 数	劣女性 の意欲 や能力 が男性 に比べ て	男女の 平等に ついて、 女性の 問題	意識が 薄いから	配偶者 控除や 健康保 険加入 免除等 の税制・ 社会保 障制度 が男女 の役割 分担を 助長し ている から	男女の 差別を 人権の 問題と して捉 える意 識が薄 いから	能力を 発揮し ていて 女性に 適正に 評価す る仕組 みが欠 けてい るから	男女の 平等に ついて、 男性の 問題	意識が 薄いから	育児や 介護な どを男 女が共 に担う ための 制度や サービ スが整 備され ないか ら	女性が 十分に 能力を 発揮で きる環 境や機 会が不 十分で ないか ら	仕事優 先・企 業中心 の考え 方が根 強いから	男女の 役割分 担につ いての 社会通 念・慣 習・し きたり などが 根強い 通
全 体		966	6.9	12.7	21.9	35.4	44.8	45.4	46.6	47.9	64.0	78.4	64.0	78.4
地域別 居住	備前県民局管内	493	5.9	14.6	22.7	33.1	45.0	47.7	45.8	48.1	64.7	78.3	64.7	78.3
	備中県民局管内	368	9.0	12.0	20.4	38.3	45.1	41.0	48.9	49.5	64.7	77.7	64.7	77.7
	美作県民局管内	100	5.0	7.0	23.0	35.0	41.0	50.0	41.0	41.0	57.0	80.0	57.0	80.0

1位 2位 3位

地域別にみると、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」は備前県民局管内、備中県民局管内で6割台半ば、「男女の平等について、男性の問題意識が薄いから」は美作県民局管内で5割と高くなっている。

【図表6-4 社会全体で男性の方が優遇されている原因(経年比較・上位 10 位)】

		n 数	劣女性 の意欲 や能力 が男性 に比べて	男女の 平等に ついて、 女性の 問題	意識が 薄いから	配偶者 控除や 健康保 険加入 免除等 の税制・ 社会保 障制度 が男女 の役割 分担を 助長し ている から	男女の 差別を 人権の 問題と して捉 える意 識が薄 いから	能力を 発揮し ていて 女性に 適正に 評価す る仕組 みが欠 けてい るから	男女の 平等に ついて、 男性の 問題	意識が 薄いから	育児や 介護な どを男 女が共 に担う ための 制度や サービ スが整 備され ないか ら	女性が 十分に 能力を 発揮で きる環 境や機 会が不 十分で ないか ら	仕事優 先・企 業中心 の考え 方が根 強いから	男女の 役割分 担につ いての 社会通 念・慣 習・し きたり などが 根強い 通
経年比較	H16	1,659	12.5	12.2	12.3	23.6	37.8	33.1	41.9	44.2	56.5	74.4	56.5	74.4
	H21	953	11.6	10.4	14.8	23.1	42.1	32.0	47.1	45.0	62.9	76.9	62.9	76.9
	H26	959	9.8	9.0	15.4	23.4	37.7	35.0	46.6	47.3	59.5	75.7	59.5	75.7
	R1	1,038	8.5	10.1	14.9	27.1	40.3	35.7	44.7	44.2	60.0	76.9	60.0	76.9
	R6	966	6.9	12.7	21.9	35.4	44.8	45.4	46.6	47.9	64.0	78.4	64.0	78.4

1位 2位 3位

経年比較でみると、平成 16 年調査以降、「男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強いから」が1位、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」が2位となっている。「男女の平等について、男性の問題意識が薄いから」は令和6年調査(45.4%)が令和元年調査(35.7%)を 9.7 ポイント上回っている。

※「配偶者控除や健康保険加入免除等の税制・社会保障制度が男女の役割分担を助長しているから」との選択肢は、H16 では「専業主婦に有利な税制や社会保障制度などが男女の役割分担を助長しているから」となっている。

※H21 のみ無回答を除いて算出された数値を使用。